

株式会社 シイエム・シイ

---

会社説明会資料



2009年7月11日

- 1. 当社のプロフィール**
- 2. 第2四半期決算について**
- 3. 売上高の内訳について**
- 4. 通期見通しについて**
- 5. 配当政策について**
- 6. 課題と今後の展開について**

# 1. 当社のプロフィール

---

- ▶ 会社概要
- ▶ 沿革
- ▶ 事業内容

# 会社概要

※ 数値は2009年3月31日現在のもの

会社名	株式会社シイエム・シイ
本社所在地	名古屋市中区平和一丁目1番19号
創業者	林 幹治(現 取締役会長)
設立	1962年5月25日
代表取締役社長	龍山 真澄
資本金	529,770千円
発行済株式数	2,243,600株
従業員数	435名(連結550名)
事業内容	マーケティング事業、システム開発事業
取得認証	ISO9001、ISO14001、ISO27001、プライバシーマーク
上場取引所	ジャスダック証券取引所(2008年12月4日上場 証券コード：2185)
関係会社	株式会社 CMC Solutions(連結子会社) CMC PRODUCTIONS USA INC 広州国超森茂森信息科技有限公司 大地新模式電腦制作有限公司
拠点	国内：6拠点 海外：5拠点



# 沿革

1962年 5月	株式会社名古屋レミントンランド・マイクロフィルムサービスを名古屋市東区に設立 図面・文書などのマイクロフィルムサービス受託業務を開始
1966年 5月	株式会社中部マイクロセンターに商号を変更、本社を名古屋市中区に移転
1970年 12月	パンチサービス受託業務を主業務とするEDP(電子データ処理システム)事業部を開設
1972年 4月	EDP事業部を独立させ株式会社中部システムズを名古屋市中区に設立 コンピューターオペレーション、プログラム受託業務を開始
1977年 6月	トヨタ自動車販売株式会社(現 トヨタ自動車株式会社)のリペアマニュアル原稿作成業務の受託を開始
1979年 8月	翻訳を主業務とする株式会社イントランスを東京都中央区に設立
1980年 11月	印刷工場を分社化し、株式会社中部印刷製本センターを名古屋市中川区に設立
1989年 10月	中部マイクロセンターの商号を株式会社シイエム・シイに変更
1994年 2月	分社化していた株式会社イントランス、株式会社中部システムズ、株式会社中部印刷製本センターを 吸収合併し、株式会社シイエム・シイとして新たにスタート
1998年 6月	アメリカの拠点としてロサンゼルスにCMC PRODUCTIONS USA INCを設立
2002年 4月	中国辛集市に大地新模式電腦制作有限公司を設立、北京市に事務所を開設
10月	キャリア・プロデュース事業部を開設し、人材派遣業務を開始
2005年 12月	中国広州市に広州国超森茂森信息科技有限公司を設立
2006年 10月	ソフトウェア開発・人材派遣部門を分社化し、株式会社 CMC Solutionsを 名古屋市中区に設立(連結子会社)
2008年 12月	ジャスダック証券取引所に株式を上場
2009年 3月	シンガポールに支店を開設

# 事業内容

## マーケティング事業 (株式会社シイエム・シイ)

インターナル・マーケティング

商品教育活動、販売・サービス教育支援活動  
業務標準化活動、会議運営活動

エクスターナル・マーケティング

宣伝・広告・プロモーション活動、販売促進活動  
ブランド構築活動、PR活動

カスタマーサポート・マーケティング

取扱説明書・修理書等の企画・編集・制作

トータルプリンティング

取扱説明書等の印刷

## システム開発事業 (株式会社 CMC Solutions)

コンピューターソフトウェア開発

コンサルテーションサービス  
システムインテグレーションサービス  
スペシャリストサービス

人材派遣

一般人材派遣

## 2. 第2四半期決算について

---

- ▶ ハイライト
- ▶ 業績について
- ▶ 自己資本(比率)について
- ▶ 純利益増減要因
- ▶ キャッシュ・フロー

## ハイライト

**前年同期比 10.4%増収、80.7%経常増益**

---

**自己資本比率 前期末比 3.2ポイント上昇し、72.2%**

---

**キャッシュ・フロー大幅増加**

---



## 業績について

### 前年同期比 10.4%増収、80.7%経常増益

単位：百万円

	前年同期実績	当期実績	前年同期比	
			金額	%
売上高	6,287	6,942	+655	+10.4
営業利益	571	1,077	+506	+88.6
経常利益	597	1,079	+482	+80.7
四半期純利益	345	634	+289	+83.8
				単位：円
1株当たり純利益	173.48	294.36	+120.88	—

## 自己資本(比率)について

### 自己資本比率 前期末比 3.2ポイント上昇し、72.2%

単位：百万円

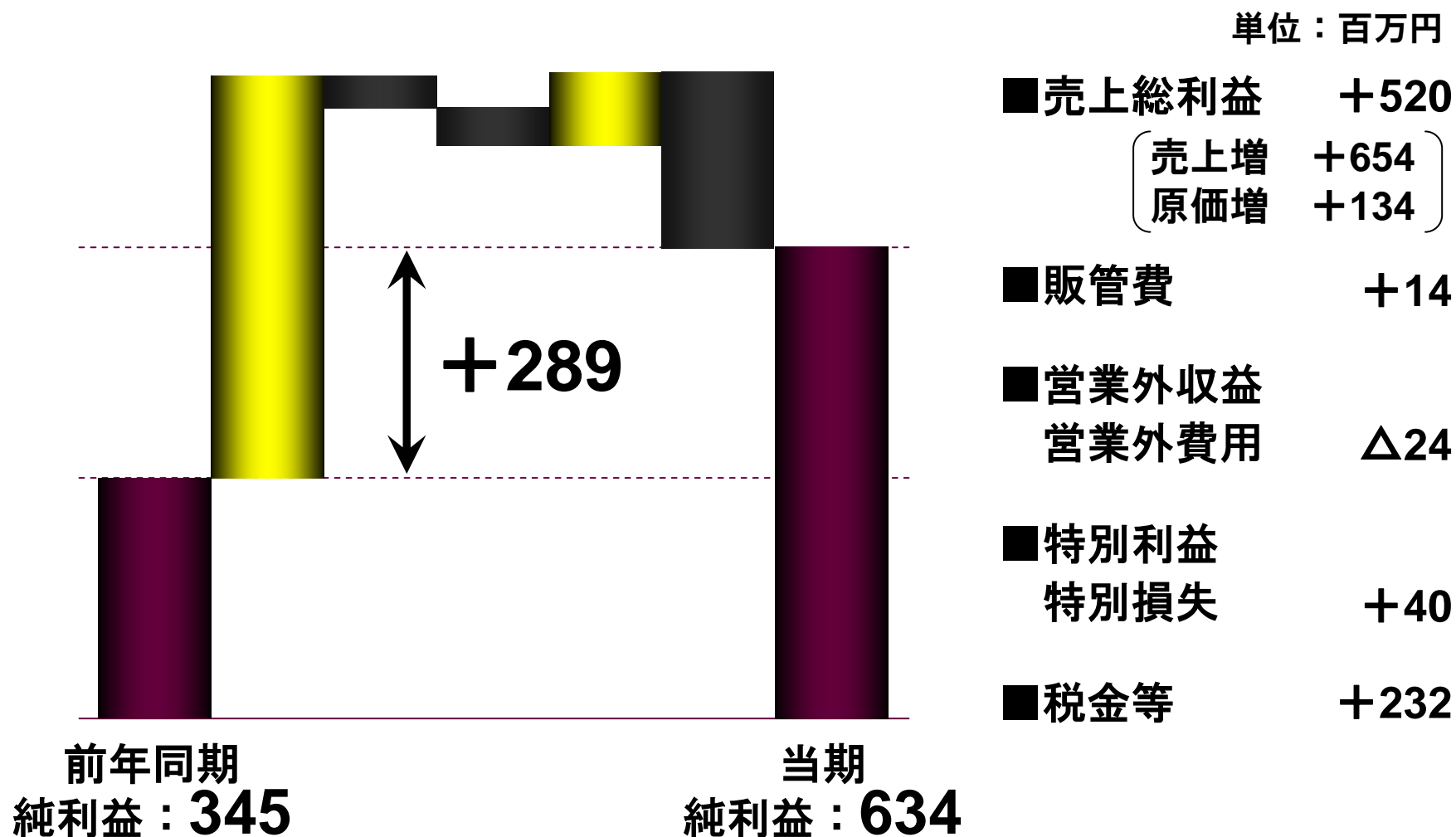
	2008年9月末	2009年3月末	前期末比	
			金額	%
総資産	8,932	9,946	+1,014	+11.4
純資産	6,163	7,185	+1,022	+16.6
自己資本比率(%)	69.0	72.2	+3.2	—

単位：円

1株当たり純資産	3,091.70	3,202.78	+111.08	—
----------	----------	----------	---------	---

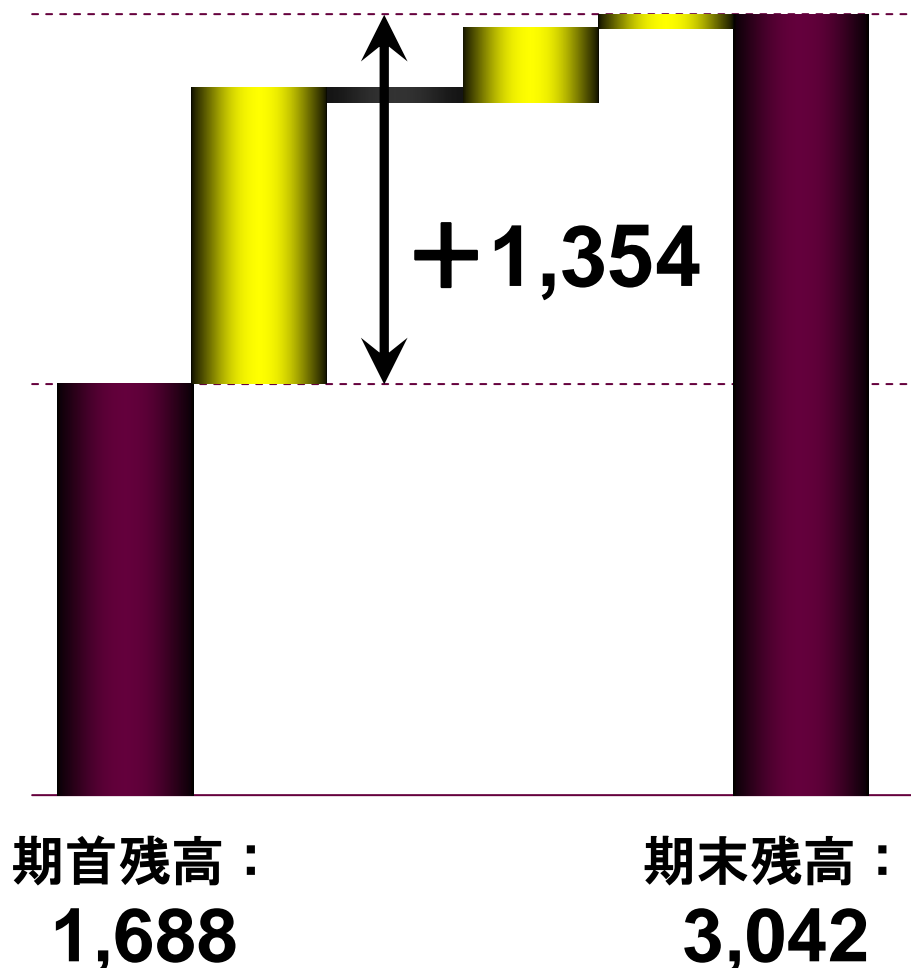
# 純利益増減要因

## 売上増、売上総利益率 改善



## 営業活動収入増、増資による収入増

単位：百万円



■ 営業活動	+973
〔 税前利益	+1,118
売上債権減少	+196
法人税等支払	△366
■ 投資	△2
■ 財務	+382
〔 株式発行	+422
■ 換算差額	+1

# 3. 売上高の内訳について

---

- ▶ **グループ業務分類別売上**
- ▶ **マーケティング事業**
  - インターナル・マーケティング
  - エクスターナル・マーケティング
  - カスタマーサポート・マーケティング
  - トータルプリンティング
- ▶ **システム開発事業**

# グループ業務分類別売上 2009年9月期第2四半期累計

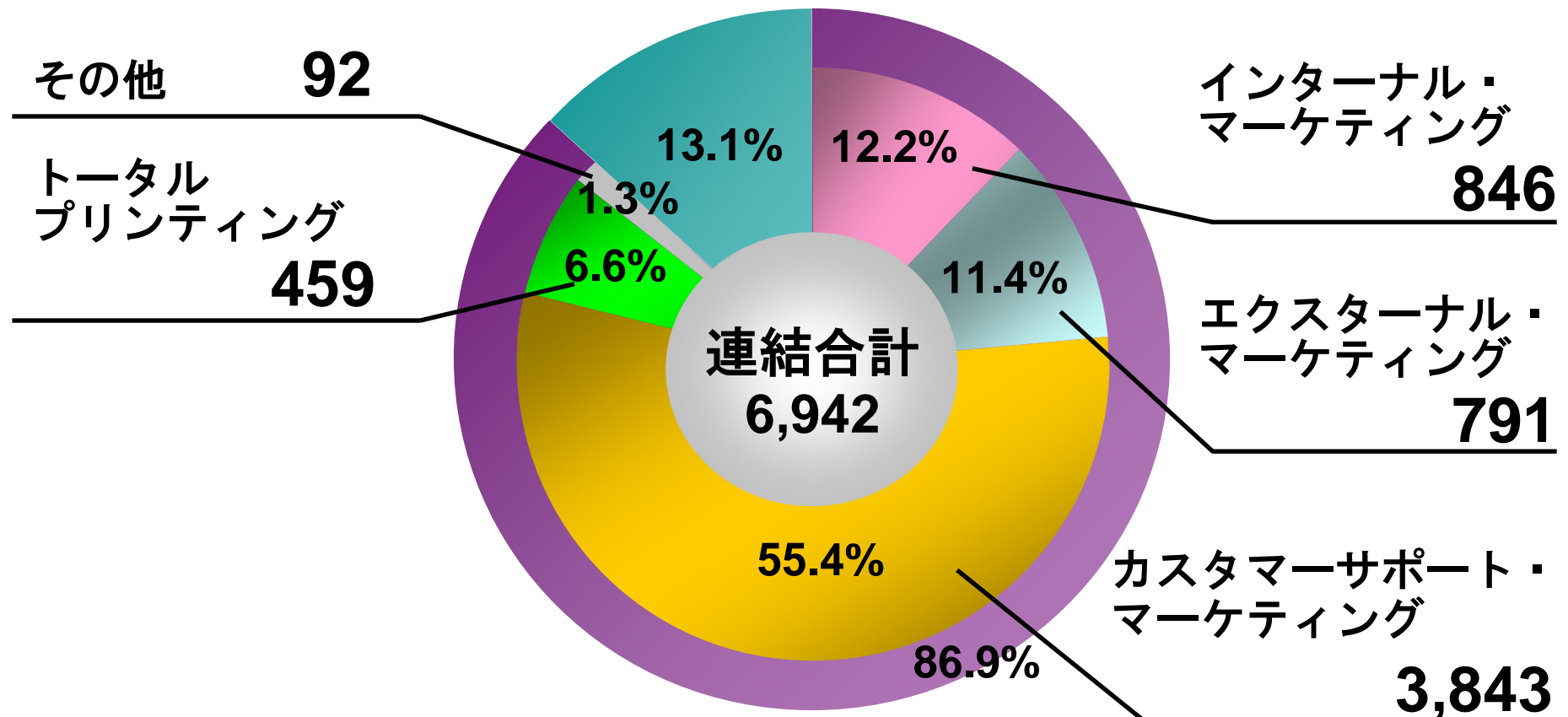
単位：百万円

## システム開発事業

909

## マーケティング事業

6,033



## 教育支援増加するも ほぼ横ばい

単位：百万円

業務内容	前年同期実績	当期実績	前年同期比	
			金額	%
教育支援	426	441	+15	+3.6
社内業務合理化支援 他	415	404	△10	△2.5
合計	842	846	+4	+0.6

## 販売促進支援、広報支援 低調

単位：百万円

業務内容	前年同期実績	当期実績	前年同期比	
			金額	%
販売促進	569	531	△38	△6.7
ブランディング	107	125	+17	+16.7
広報・人事・採用・IR 他	175	134	△40	△23.3
合計	852	791	△61	△7.2



## 取扱説明書、修理書等の企画・編集・制作 好調

単位：百万円

業務内容	前年同期実績	当期実績	前年同期比	
			金額	%
取扱説明書	1,223	1,616	+393	+32.2
修理書・解説書 他	1,130	1,758	+628	+55.6
その他	526	468	△58	△11.1
合計	2,880	3,843	+963	+33.4

## 全体的に低迷

単位：百万円

業務内容	前年同期実績	当期実績	前年同期比	
			金額	%
取扱説明書・修理書 他	249	215	△33	△13.5
商業印刷	291	236	△54	△18.8
その他	66	7	△58	△88.9
合計	606	459	△147	△24.3

# システム開発事業

## システムインテグレーションサービス 低迷

単位：百万円

業務内容	前年同期実績	当期実績	前年同期比	
			金額	%
システム開発	822	732	△90	△10.9
コンピューター ソフト・ハード販売	82	105	+22	+27.6
人材派遣	101	71	△29	△29.5
合計	1,006	909	△97	△9.7

# 4. 通期見通しについて

---

▶ 通期見通し

▶ 業績推移

売上高

経常利益・当期純利益

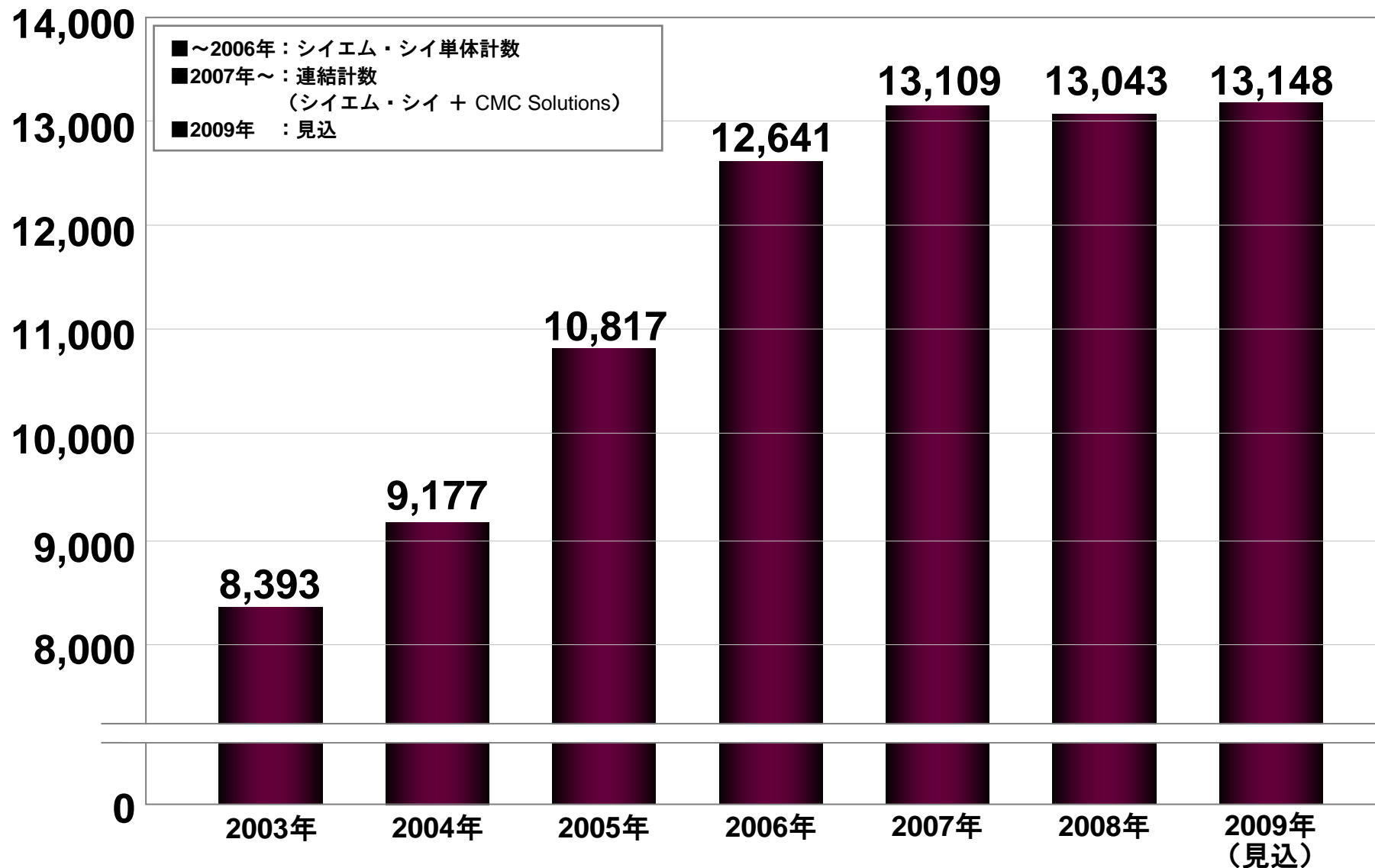
# 通期見通し

単位：百万円

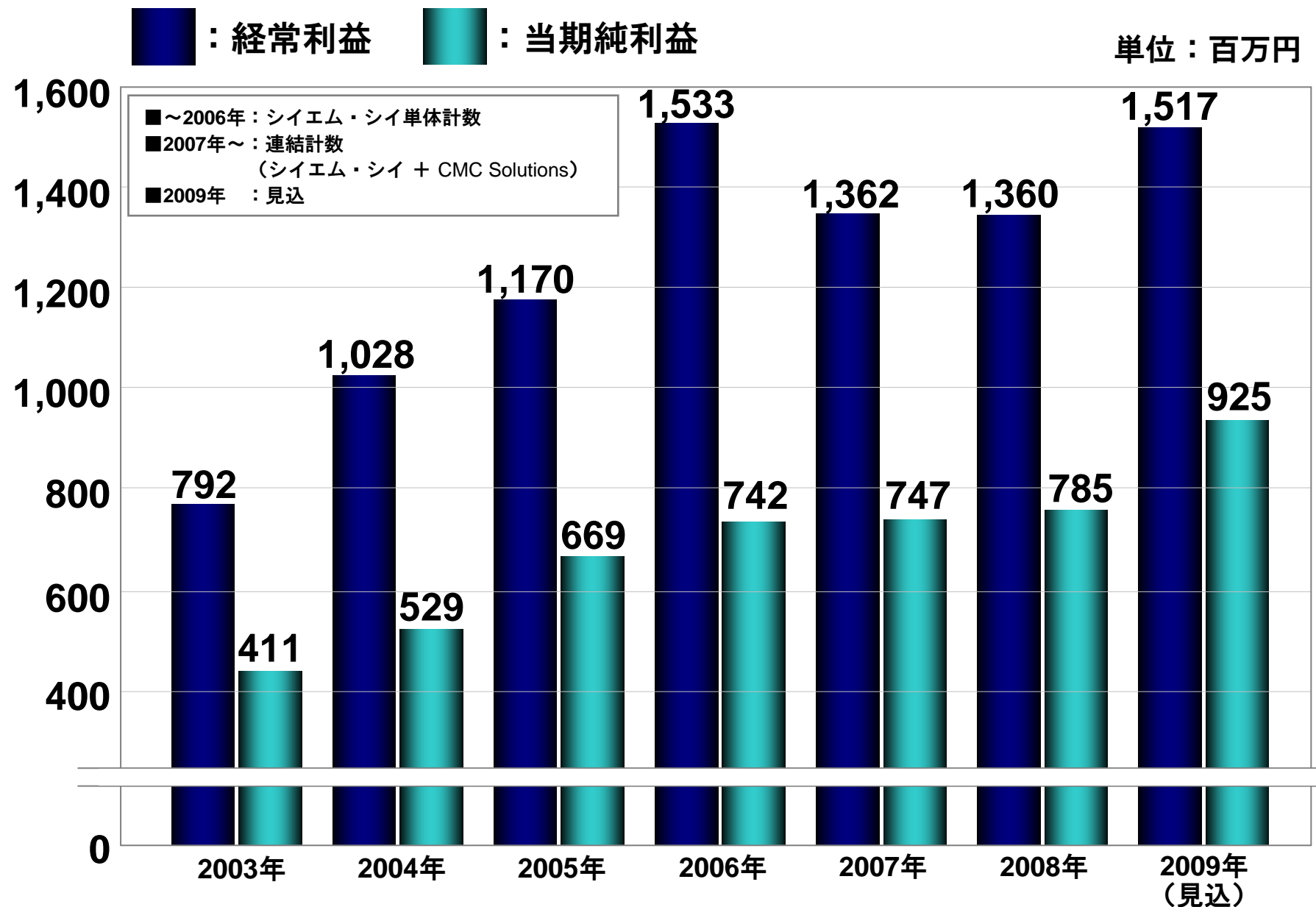
	前年同期実績	当期実績見込	前年同期比	
			金額	%
売上高	13,043	13,148	+104	+0.8
営業利益	1,304	1,505	+200	+15.4
経常利益	1,360	1,517	+157	+11.6
当期純利益	785	925	+139	+17.8
				単位：円
1株当たり純利益	394.13	420.50	+26.37	—

# 業績推移 売上高

単位：百万円



# 業績推移 経常利益・当期純利益



# 5. 配当政策について

---

- ▶ 配当実績および見込み
- ▶ 配当に対する考え方



## 配当実績および見込み

### 今期、40円に増配

	2006年	2007年	2008年	2009年
1株当たり配当金	200円	200円	20円	40円
配当性向	5.4%	5.3%	5.1%	9.7%



2008年4月2日付で1株につき10株の株式分割を行っております。

### 安定性を重視しつつ、 以下の要素を総合的に勘案して決定

---

- 将来の成長に備える内部留保
- 中長期的な業績見通し
- 手元資金状況

# 6. 課題と今後の展開について

---

- ▶ 課題
- ▶ 今後の展開

**新しい表現手法への対応**

---

**マーケティング機能の拡張**

---

**優秀な人財の確保と育成**

---

**新たなビジネス・チャンスの発掘**

---

## 新しい表現手法への対応

---

取扱説明書など、印刷物から映像へ移行  
⇒映像、CGのノウハウ強化

▼商品コマーシャルフィルム



▼機能解説CG



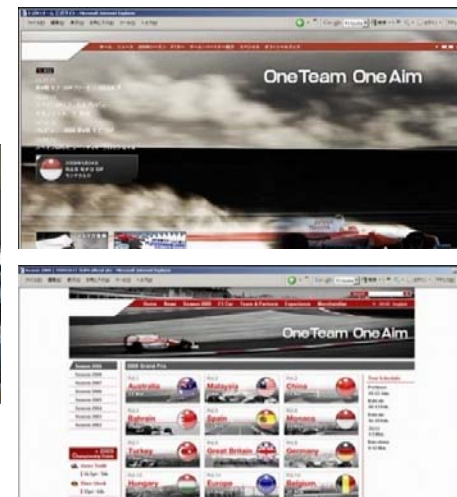
## マーケティング機能の拡張

商品情報の発信機能が必要  
⇒PRのノウハウ強化

金融サービス  
店舗告知▼



▼モータースポーツPR



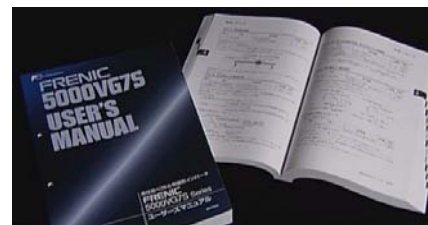
## 優秀な人財の確保と育成

商品知識と企画編集スキルを持った人財確保が急務  
⇒商品知識・営業スキル・語学の教育



## 新たなビジネス・チャンスの発掘

⇒ 将来に向けての新規事業分野への展開





**業務分類構成の再構築**

---

**ターゲット業種の拡大**

---

**エリア戦略**

---

## 業務分類構成の再構築

---

インターナル及び  
エクスターナル・マーケティング分野への拡大



◀ ▼ 商品教育研修



▲ 全国販売店会議運営

## ターゲット業種の拡大

---

建設機械メーカー、精密機械メーカー  
製薬、流通、金融などの業種への拡大

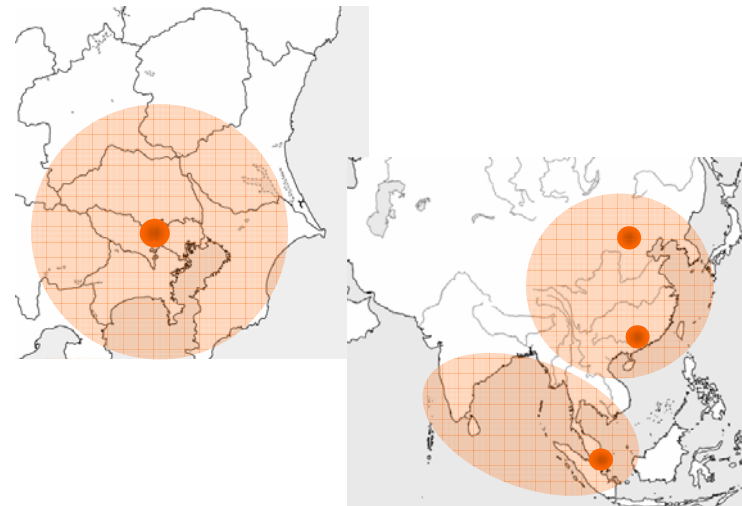


## エリア戦略

---

国内：首都圏での拡販

海外：中国、シンガポールを拠点とする  
東南アジアでの拡販



本資料における当社の今後の計画、見通し、戦略等の将来予想に関する記述は、当社が現時点において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等の結果はこれらの見通しと異なる可能性がありますことをご了承ください。

#### 本資料に関するお問合せ先

株式会社シイエム・シイ  
経営企画室担当 常務執行役員 田島龍司  
電話：052-322-3386  
URL：http://www.cmc.co.jp/

〒460-0021  
名古屋市中区平和一丁目1番19号

株式会社 シイエム・シイ

